

## NewsRelease

東京都江東区東雲一丁目 7 番 12 号  
(コード番号 8566 東証第 1 部)

### 株式会社日本政策投資銀行による「環境格付」に基づくリース料債権証券化実施について

リコーリース株式会社（代表取締役社長執行役員：有川 貞広、以下「当社」）は、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」）より、環境格付において最高ランクの格付を取得し、3月30日に「DBJ環境格付」に基づくリース料債権証券化を実行致しましたのでお知らせ致します。

本証券化により、資金調達が多様化を図り、更なる環境配慮型製品の普及・拡大を推進します。

なお、「環境格付に基づいたエコリース債権証券化」による資金調達としては、世界初の事例となります。

#### 1. 環境経営への取組み

当社は、社会から愛され、成長、発展を望まれる企業となることを目指し、「CSRファースト」を推進しております。企業は社会の一員として社会の持続可能な発展に貢献すること（CSR）を基本方針としております。この基本方針のもと、「環境との調和」を特に重要な経営テーマと認識し、中期環境経営計画では3つの柱を掲げています。①環境配慮型製品の普及・拡大などグリーン事業推進、②事業活動におけるCO2排出削減、③環境コミュニケーションの強化。

#### 2. DBJ環境格付評価

「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、評点に応じた融資条件を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての投融資メニューです。

今回の評価では、当社の上記環境経営の取組みにおいて、環境経営度評価システムによる自己評価を行い、EMSの高度化を進めてきた点、イメージワークフローシステム導入による紙使用量の削減や、エコドライブコンテストなどを通じて営業車両のガソリン使用量を3期連続して削減したこと等、事業活動における環境負荷の低減に全社挙げて取り組み、『相対的に環境負荷が少ない、効率的なリースサービスを提供している点』との高い評価を頂き、「環境への配慮に対する取組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得いたしました。

#### 3. リース料債権証券化概要

対象債権：エコリース機器を主としたリース料債権

受益権譲受人：株式会社 日本政策投資銀行

受益権譲渡額：約170億円

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

◆リコーリース株式会社 経営企画室 渥美/岡田

Tel: 03-6204-0608 Fax:03-6204-0522 Email: ir@rle.ricoh.co.jp

本リリース文中に記載の会社名および製品名は各社・団体の商標または登録商標です。

※ 本リリース文中には、<sup>TM</sup>、<sup>®</sup>マークは明記しておりません。

※ 本リリース文中に記載の会社名・商品名・URLなどは、本リリース発表時点のものです